

# W32-R8240

# エレクトロメータ R8240

使用できる機種 R8240

# エーディーシー

品番	GP-IBボード	価格	動作環境
W32-R8240-R	ラトックシステム	<b>60,000円</b>	Win Vista/7/8.1/10 (32 or 64bit) Excel2007/10/13/16 (32bit only)
W32-R8240-N	NI社		

R8240は、エーディーシー社の商標です。

## 機能



### ・データロガーとしての活用

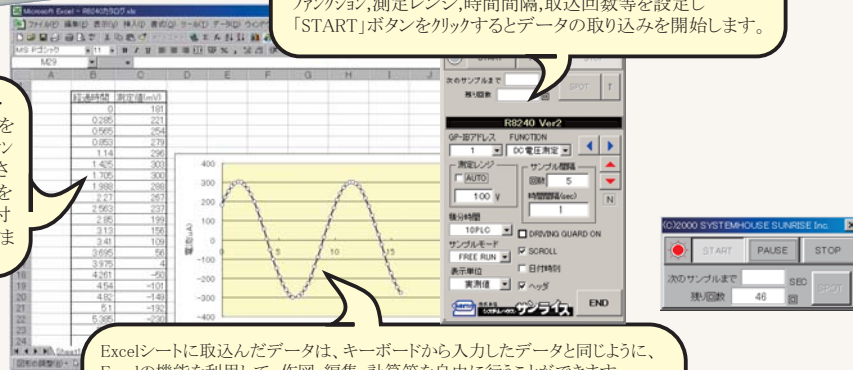
指定された時間間隔で指定された個数のデータをリアルタイムにExcelシートに取込みます。最大200,000回までのデータが連続して取り込めます。

### ・製品検査への活用

被測定物を取り換えながら、個々のデータをExcelシートに取込みます。

本プログラムはExcel上のアドインとして動作します。Excel上から本アドインを起動すると、Excelシート上に、このウィンドウが現われます。ファンクション、測定レンジ、時間間隔、取込回数等を設定し「START」ボタンをクリックするとデータの取り込みを開始します。

スタートすると、ファンクション・測定レンジ・サンプリング速度を設定した後、指定されたサンプリング時間間隔で、指定されたサンプル数のデータを取込みます。必要なら日付時刻も付加することもできます。



Excelシートに取込んだデータは、キーボードから入力したデータと同じように、Excelの機能を利用して、作図・編集・計算等を自由に行うことができます。また、事前にデータが取込まれる領域をExcelのグラフウィザードで設定しておけば、データ取込とグラフ化がリアルタイムに行えます。  
※本アドインに自動グラフ作図機能はありませんので、Excelのグラフウィザードを使用して作図してください。

## 操作説明

測定器からデータの取込を開始します。「PAUSE」を先に押してから「START」を押すとスポット測定モードになります。

測定ファンクションを設定します。

測定器本体で設定したGP-IBアドレスと同じ値を設定します。

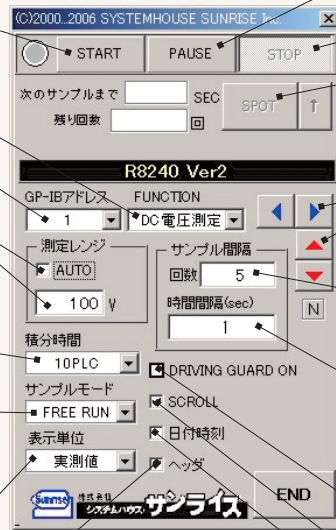
測定レンジをAUTO/MANUALで切替えます。AUTOのチェックを外すとレンジ入力用テキストボックスが現れますからレンジをキーボードから入力します。厳密な値を入力する必要はありません。入力された値に一番近い1つ上のレンジに設定されます。

測定の積分時間を設定します。

サンプリングモードを設定します。「FREE RUN」は、測定中もFREE RUN状態を保持します。「パソコン」は、測定時間毎にパソコンが測定器にトリガを送信します。測定器はHOLD状態になります。「外部端子」は、測定器リアーの「EXT TRIG」端子からの信号により測定を行います。

測定値をExcelへ入力する時の単位を設定します。「実測値」は、「V」または「A」の単位で入力します。

最初のデータ取込時、測定項目名等のヘッダを付加します。



データの取込を一時中止します。もう一度クリックすると、取込を再開します。

データの取込を停止します。

「PAUSE」中、有効となり、クリックする毎にデータを取り込みます。スポットモードでは、データのサンプリングに使用します。右隣「」のキーは、再測定のため、最後に測定したデータを1つ削除します。

Excelシート上のカーソルを左右・上下に移動します。Excelシート上のカーソルを移動しデータ取込開始位置を決定します。「Start」ボタンをクリックするとカーソル位置から下方へデータを取込みます。

データを取込む回数を指定します。但し、「STOP」ボタンでいつでも中断できます。また、何も入力されていないときは、200,000回と解釈されます。入力できる最大回数は、200,000回です。

データを取込む時間間隔を秒の単位で入力します。ここで入力した時間と実際の時間間隔では若干の差異が発生します。何も入力が無い場合やゼロが入力された場合は、最速でデータを取り込みます。入力できる最大時間は、3600秒です。

測定開始で「DRIVING GUARD」をONにする場合、チェックします。

データの入力と共にシートをスクロールします。

データに日付時刻を付加します。

### スポット測定モードの使用法

「PAUSE」ボタンを先にクリックして、その後「START」ボタンをクリックすると「スポット専用測定モード」になります。マルチメータの設定が行われた後、「SPOT」ボタンのクリック待ちとなります。「SPOT」ボタンをクリックする毎にデータがExcelシートに取込まれます。この時「SPOT」ボタンをクリックする代わりに「スペース」キーを押しても同様の結果となります。この「スポット専用測定モード」では、「経過時間」の欄には1,2,3...と「連続番号」が入力されます。例えば、被測定物を取り換えながら、個々の被測定物の測定を行う場合に便利です。「スポット専用測定モード」を終了するためには、「STOP」ボタンをクリックします。